

みやざきの食と農を考える県民会議会員 (順不同)

- |                  |                        |                             |
|------------------|------------------------|-----------------------------|
| 宮崎県              | 宮崎県商工会連合会              | はまゆう農業協同組合                  |
| 宮崎県教育委員会         | 宮崎県中小企業団体中央会           | 串間市大東農業協同組合                 |
| 宮崎県議会環境農林水産常任委員会 | 宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合       | 都城農業協同組合                    |
| 宮崎県市長会           | 宮崎県飲食業生活衛生同業組合         | こばやし農業協同組合                  |
| 宮崎県町村会           | 宮崎県すし商生活衛生同業組合         | えびの市農業協同組合                  |
| 宮崎県市議会議長会        | 宮崎県料理業生活衛生同業組合         | 西都農業協同組合                    |
| 宮崎県町村議会議長会       | (公財)みやざき観光コンベンション協会    | 児湯農業協同組合                    |
| 宮崎市              | 宮崎協定旅館連盟協議会            | 尾鈴農業協同組合                    |
| 都城市              | 宮崎若女将倶楽部               | 日向農業協同組合                    |
| 延岡市              | 宮崎調理士会                 | 延岡農業協同組合                    |
| 日南市              | (公社)全日本司厨士協会西日本地方宮崎県本部 | 高千穂地区農業協同組合                 |
| 小林市              | ふるさと料理 杉の子             | 宮崎県漁業協同組合連合会                |
| 日向市              | (公社)宮崎県栄養士会            | 宮崎県漁協青壮年部連絡協議会              |
| 串間市              | 宮崎県学校栄養士会              | 宮崎県漁協女性部連絡協議会               |
| 西都市              | 宮崎県食生活改善推進協議会          | 宮崎県森林組合連合会                  |
| えびの市             | 公益財団法人宮崎県健康づくり協会       | 宮崎県信用農業協同組合連合会              |
| 三股町              | 中西牧場(ミルククラブ)           | 農林中央金庫宮崎支店                  |
| 高原町              | 好日庵                    | 宮崎県農協青年組織協議会                |
| 国富町              | (一社)宮崎県ジェイエイ食品開発研究所    | 宮崎県青果市場連合会                  |
| 綾町               | 宮崎県食品産業協議会             | 元聖心ウルスラ学園短期大学 教授 藤井 昇       |
| 高鍋町              | 宮崎県農協果汁(株)             | 国立大学法人宮崎大学地域資源創成学部 教授 谷田貝 孝 |
| 新富町              | (株)ミヤチク                | 有限会社鉾脈社                     |
| 西米良村             | 宮崎県仕出弁当協会              | 朝日新聞社                       |
| 木城町              | 宮崎県弁当仕事業協同組合           | 毎日新聞社                       |
| 川南町              | 宮崎県漬物協同組合              | 読売新聞社                       |
| 都農町              | 宮崎県食肉消費対策協議会           | 西日本新聞社                      |
| 門川町              | (公社)宮崎県物産貿易振興センター      | 日本経済新聞社 宮崎支局                |
| 美郷町              | (株)エーコープみやざき           | 南日本新聞社 宮崎支局                 |
| 諸塚村              | (株)マルシヨク宮崎支店(サンリブ宮崎)   | 宮崎日日新聞社                     |
| 椎葉村              | 株式会社 宮崎山形屋             | 共同通信社                       |
| 高千穂町             | 株式会社 セブン・イレブン・ジャパン     | 時事通信社                       |
| 日之影町             | 有限会社 エムツー              | NHK 宮崎放送局                   |
| 五ヶ瀬町             | 株式会社 ハツトリー             | MRT 宮崎放送                    |
| 九州農政局宮崎支局        | 宮崎空港ビル株式会社             | UMK テレビ宮崎                   |
| 生活協同組合コープみやざき    | JA 宮崎県女性組織協議会          | 九州電力(株)宮崎                   |
| 宮崎県地域婦人連絡協議会     | 宮崎県SAP会議連合             | (株)日本航空インターナショナル 宮崎支店       |
| 宮崎県PTA連合会        | 宮崎県農業協同組合中央会           | 麒麟ビールマーケティング(株)宮崎支社         |
| 宮崎県校長会           | 宮崎県経済農業協同組合連合会         | 株式会社アイロード                   |
| (公財)宮崎県学校給食会     | 宮崎中央農業協同組合             | 映像企画・製作 m20                 |
| 宮崎県商工会議所連合会      | 綾町農業協同組合               |                             |

みやざきの食と農を考える県民会議

宮崎県農政水産部 農業連携推進課  
 〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号  
 TEL 0985-26-7132 FAX 0985-26-7332  
 【上映に関するお問い合わせ】  
 〒880-0933 宮崎市大坪町寺山大迫3139-3(映画企画・製作 m20内)  
 TEL 0985-50-5578 FAX 0985-50-5562

はなみちちゃんのみそ汁



わたしたちをつなぐ、  
 おいしくてあったかい記憶

はなみちちゃんのみそ汁

広末涼子 滝藤賢一

一青窈 紺野まひる 原田貴和子 春風ひとみ 遼河はるひ 赤松えみな(子役)  
 平泉成 木村理恵 北見敏之 高畑淳子  
 鶴見辰吾 / 赤井英和 / 古谷一行

原作:安武信吾・千恵・はな「はなちゃんのみそ汁」(文藝春秋刊)  
 監督・脚本:阿久根知昭  
 主題歌:一青窈「満点星」(ユニバーサルミュージック/EMI Records)  
 企画:村岡克彦 プロデューサー:坂本和隆/堀尾星矢/藤原啓子  
 撮影:寺田緑郎(JSC) 照明:鈴木康介 録音:本田孜 美術:丸尾知行 監督補:横山浩之  
 特別協賛:住友生命保険相互会社  
 協賛:クリナップ株式会社 フンドーケン醤油株式会社  
 製作:「はなちゃんのみそ汁」フィルムパートナーズ(イメージフィールド/東京テアトル/医療法人専栄会本間病院/  
 相武台臨神経外科/中央映画貿易/オデッセイエンタテインメント/西日本新聞社/酒井孝子)  
 制作プロダクション:イメージフィールド 配給:宣伝:東京テアトル(東京テアトル70周年記念作品)  
 2015年/日本/デジタル/118分/ヴィスタ/カラー/5.1ch ©2015「はなちゃんのみそ汁」フィルムパートナーズ  
 hanamiso.com 文部科学省選定(成人向き、家庭向き)

がんばってこの世を去った千恵、33歳。5歳の娘と夫、愛する人へ伝えたい、いのちのメッセージ。  
 あなたは子どもに何をのこせますか?  
 〈特別推薦〉公益社団法人日本PTA全国協議会  
 〈後援〉宮崎県市町村教育委員会連合会  
 ピンクリボン活動みやざき



# 食べることは生きること。前向きに生きる姿に、あたたかい涙が溢れ出す！

## 「いただきますからはじめよう」

毎日の食卓を彩る野菜や果物、肉や野菜、これらはすべて自然から生まれた「いのちの恵み」です。そして、私たちが毎日いただいている食事は、本県の豊かな食材が、生産、流通、調理と様々な人の手で支えられて、ようやく食卓に届いたものです。

しかしながら、近年のライフスタイルの多様化によって、家族で食卓を囲む団らんの機会が少なくなっています。皆さんは、今日、「いのちの恵み」に感謝し、「いただきます」と手を合わせましたか？

近年の調査では、栄養バランスの乱れや朝食の欠食も見受けられ、それは、これから親になる20代から30代の世代で特に顕著であります。私たちは、「食の大切さ」を再認識し、食育の取組を次世代につないでいく必要があります。

映画「はなちゃんのみそ汁」は、がんと宣告された母親が、わずかな余命の中で娘に健康で生きる力を身につけて欲しいとの思いから、味噌汁づくりを通じて「食べることは生きること」であることを教え、いのちを後世につなぐ作品です。

多くの皆様にこの映画を見ていただき、「食」の大切さを見つめ直すきっかけにさせていただきたいと願っております。



みやざきの食と農を考える県民会議 会長 河野 俊嗣



## ちゃんと作る、ちゃんと食べる一大切な家族へ、愛するひとへ伝えたい、いのちのメッセージ

恋人との何不自由ない幸せを夢見ていた千恵はある日、乳がんを宣告される。見えない不安に怯える千恵に信吾は優しく寄り添いプロポーズをする。こうして2人は晴れて夫婦となった。

抗がん剤治療の影響で卵巣機能が低下、出産をあきらめていた千恵だが、ある時妊娠していることが分かる。産むか産まないか一産むということはがんの再発リスクが高まり、自らの命が危険にさらされるとのことだった。

周りの支えで命を懸けて産むことを決意し、はなを無事出産。しかしながら、家族3人、幸せな日々は長くは続かず、千恵を再び病魔が襲い、残り少ない命を覚悟。私がいなくなってもはなが暮らしていけるようにと、千恵は鯉節を削って作るところから始めるみそ汁など料理や家事の大切さを教えはじめる。

彼女たちのおいしくてあたたかい、かけがえのない日々が続いていく。

## 日本中が涙した！ベストセラー実話エッセイを映画化！ 広末涼子 × 滝藤賢一 × 赤松えみな（期待の子役） × 一青窈、 豪華キャストの幸せなアンサンブル

がんでこの世を去った千恵、33歳。5歳の娘と夫、家族との日々をつづったブログを基にしたエッセイ「はなちゃんのみそ汁」は2012年に発売されるやいなや、常にひたむきな明るさで生きる安武一家の姿が日本中で大きな話題を呼び、関連書籍やテレビドラマ化、教科書への採用など社会現象を巻き起こし、このたびついに映画化。

結婚、妊娠、出産と人生の転機をがんと闘い、食を大切に生きてきた千恵を演じるのは、広末涼子。夫・信吾を今や日本映画界になくはない滝藤賢一が演じ新境地を見せている。娘・はなは、1,000人超のオーディションで選ばれた演技経験ゼロの新星、赤松えみなが演じる。また彼女たちを見守る家族や仲間として、鶴見辰吾、赤井英和、古谷一行、高畑淳子、平泉成といった豪華面々による競演が実現した。

2013年キネマ旬報ベストテン日本映画第一位に輝いた『ペコロスの母に会いに行く』で脚本を担当した阿久根知昭が、本作でも脚本を務め初のメガホンを握る。主題歌を担当するのは生前に千恵さんが好きだった歌手、一青窈。本作のために書き下ろしたオリジナル曲『満点星』を優しく強く歌いあげる。「私はツイていた」と前向きに生きる千恵たちの姿が、この冬日本をあたたかい涙で包みこむ。



## ーピンクリボン活動みやざきについてー

映画「はなちゃんのみそ汁」は、がんと闘いながら前向きに生きる母の姿が描かれています。親として最期を迎えることになった時、皆さんは子供に何を遺すのでしょうか。「乳がんは治るがん。宮崎から乳がんで悲しむ女性を1人でも減らしたい」をスローガンに、「ピンクリボン活動みやざき」実行委員会は、2005年から乳がんの早期発見・早期治療の啓発に取り組んでいます。宮崎県の乳がん検診受診率は、平成25年度国民生活基礎調査によると45.3%です。たくさんの方々はこの映画を鑑賞いただき、1人でも多くの方が乳がん検診を受け、早期発見、早期治療につながることを願っています。



ピンクリボン活動みやざき実行委員会 会長 爲山 高志

## ーみやざきの食と農を考える県民会議についてー

みやざきの食と農を考える県民会議は、「食の宝庫みやざき」ならではの県民の豊かで健康的な食生活の普及・定着を図ることを目的に、平成13年7月に設立された組織です。県民会議はその趣旨に賛同する133の行政・団体・企業・個人で構成されています。設立以来15年、「食育」と「地産地消」にかかる様々な普及啓発活動を県民運動として展開しています。

## みやざきの食と農を考える県民会議

会長 河野 俊嗣

宮崎県知事

副会長 谷口 由美繪

宮崎県地域婦人連絡協議会会長

道本 英之

宮崎県食品産業協議会会長

瀬戸口 みつ子

宮崎県食生活改善推進協議会会長

山田 由美子

宮崎県PTA連合会会長

和田 裕子

生活協同組合コープみやざき会長

森永 利幸

宮崎県農業協同組合中央会会長



原作者 安武信吾（やすたけ・しんご）1963年、福岡県宮若市出身。

余命がそう長くはないと覚悟した千恵は、幼いはなにみそ汁作りを教えました。娘に健康で生きる力を身につけてほしい、との考えからでした。「映画を観て、うちの子どもが早速みそ汁を作ってくれました」と報告してくださった方がいます。こんなに嬉しいことはありません。

料理も家事も本当は大人がやったほうが早いのですが、子どものペースでやらせることが大事だと思うんです。

食べることは生きること。改めて思うのは、台所は次世代にいのちを繋ぐ場所であるということ。家族で食卓を囲みながら、映画の話をしてもらえたら嬉しいです。

